

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 3月31日

事業所名 みんなの光楽園そら(児童発達支援)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	・棚の設置など最低限にし、見通しがよく死角がないようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	・適正な人数の職員が出勤できるよう休みの日は話し合いながら決めている。 ・子どもたちそれぞれの特性や発達に合わせて人数は工夫している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	0	・活動する場所、ロールマットをする場所、決めることでわかりやすい環境にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	0	・毎日の掃除、洗濯等清潔に行っている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・毎月の会議で振り返りどうしていくかを話し合っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	1	保護者にも評価をお願いしている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	保護者向け評価の結果を見る機会があることで振り返ることが出来る。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	2		3施設体制が整い次第、第3者による外部評価を受けることを検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・研修の案内を全員が共有できるようにしているので、自分のタイミングで学ぶことができる。	
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	0	・職員同士のコミュニケーション、ファイルにそれぞれの子どもたちの今の様子を共有している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	0	2		現在セラピストを中心に活用中。全体にも広げていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	子どもの姿から支援内容を書き出し、職員みんなに共有することで適切で具体的な支援内容が設定されている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	・支援計画を職員全員に共有することで支援計画に沿った支援が行われている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	子どもたちの様子を見ながら職員同士で話し合い活動を考えている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	季節の遊びを取り入れたり、散歩の距離を伸ばしたりしている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	3	0	0	子どもの様子によっては、個別の活動にし、丁寧な関わりを行っている。		

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 3月31日

事業所名 みんなの光楽園そら(児童発達支援)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	17 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	0	2	その日の子どもの様子を見て適切な活動内容を職員同士で話し合っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	1	・その日を振り返り、よかった点、こうしたらよかったなど、会話するように自然と行っている。 ・ChatWorkのグループの中で必要な情報共有は実施している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・子どもの成長や気になる点を書き出し、振り返ることができるようにしている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・子どもの様子を見て必要であれば支援計画の見直しを判断している。	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	子どものことを常に見つめ理解する方が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	0	関係機関の方が見学に来られ、話し合う機会がある。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/	/		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/	/		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	0		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	0	2		
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	0	・認定こども園との交流をその子どもの発達段階タイミングを見て行っている。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	0	2		
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	日々の送り迎え時や連絡帳で成長や困っていることなどを伝え合っている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	0	0	親子で参加できるイベントを実施している。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0		
保	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明会を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	0	支援内容を作成し、保護者に伝え同意を得ている	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	その場で応えたり、職員で話し合い、時間をかけて応えていき、安心できるようにしている。	

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 3月31日

事業所名 みんなの光楽園そら(児童発達支援)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	保護者も参加できるイベントへのお知らせを行っている。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	その場で終わらず、職員同士伝え合い、丁寧に応えていくようにしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	お手紙やチャットを使い発信している。	
	38 個人情報の取り扱いに十分注意しているか	4	0	0	情報を外で話さない、書類等は園内だけで行うなどしている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	連絡帳や日々の送迎時、チャットなどを使って、意思疎通、情報伝達ができるようにしている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	0	1	文化祭出店等、地域の方にも知って頂く機会がある。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	0	1	・毎月避難訓練、記録、避難経路の話し合いなど行っているが保護者への周知は不十分	今後各種マニュアルや対策等について精査・改善をすすめ、保護者への説明等も徐々にすすめていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	いろいろな場合に備え、話し合い、記録している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	0	その子どもの記録のファイルにはさみ、いつでも確認できるようにしている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	机を別にしたり、職員が個別につくようにしている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	0	1	作成した書類をいつでも見れるようにしている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	全員が受けられるよう、研修を繰り返したり、動画で視聴できるようにしている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	1	研修を受け理解する機会がある。	危険回避のための静止についてより詳しく定めていく。	